

三重大学理事等のイクボス宣言

宣言日：2017（平成29）年11月15日

場 所：三重大学事務局棟2階会議室

立会人：石垣 弘美 三重県男女共同参画センター フレンテみえ所長

[イクボス宣言の様子はこちらから](#)

宣言者	宣言文
理事（教育担当）・ 副学長 山本 俊彦	<ul style="list-style-type: none"> － 全ての教職員が、仕事と生活の調和を実現し、やりがいと充実感をもって働くことができるように、自ら率先してワーク・ライフ・バランスを実践します。 － 教職員一人一人の個性の豊かさや多様な背景に目を向け、その個性と能力が最大限に発揮できるようきめ細かな配慮のできるイクボスをめざします。 － 子育てや介護などのライフイベントの実情に配慮することのできるフレキシブルな組織や関係づくりに取り組み、育児休暇や介護休暇の取りやすい環境の整備を進めます。 － 男女が共に各々の持てる力を存分に発揮し、自らの思いや願いに応じて活躍できるように、また、余暇や家族とのふれあい、地域活動等に積極的に参画できるよう、全学的な機運の醸成に取り組みます。
理事（研究・社会連携 担当）・副学長 鶴岡 信治	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、三重大学のすべての学生および教職員が、生きがいを持って、幸福感のある人生を楽しむことを応援し、私自身も家族との時間を大切にする「イクボス」になります。 － 多様な価値観、働き方を理解し、組織内の情報共有の効率化を実施し、書類と会議の削減を進める職場を目指します。 － 短期的な成果より、長期的な視野に立つてものごとを考え、大学と地域の連携による地域イノベーションを実現する学生および教職員を育成します。
理事（企画・評価・IR 担当）・副学長 尾西 康充	<ul style="list-style-type: none"> － ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティの精神を普及することに努めます。 － 《輝く女性教員》と《輝く女性職員》が活躍の場を拡げられるように、職場の環境を整備します。 － 次世代を担う学生たちが《多様な生き方》を尊重できるように、性別・年齢・国籍等を越えて共感し合える教育を推進します。 － 普段は気づかない、しかし、それが原因で人間関係がぎこちなくなっている社会の構造を明らかにする、人文社会領域の研究活動を活発にします。 － 妻と娘との対話を大切にし、笑いのある家庭にします。
理事（情報・環境担 当）・副学長 加納 哲	<ul style="list-style-type: none"> － 「イクボス」の考え方を理解し取り入れます。 － 教職員や学生のワーク・ライフ・バランスを尊重します。 － 教職員や学生のキャリアと人生を応援します。 － 組織の業績向上を目指しつつ、自らの仕事と私生活を楽しめるよう取り組みます。

<p>副学長（教育・COC+ 担当） 富樫 健二</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、業務に関わるすべての教職員・学生と協力し、明るく充実した職場環境、学習環境をつくることをめざします。 － 個人の価値観や多様性を尊重し、相手を思いやる気持ちを大切にした組織づくりを心がけます。 － 女性・若手の教職員、学生がさらに活躍できるよう積極的に支援し、成功をともに喜べるよう努力します。 － ワーク・ライフ・バランス実現のため、余暇における運動やスポーツを通じたコミュニケーション、健康づくりを推奨し、自らも実践します。
<p>副学長（学生総合支援・インターンシップ 担当） 野崎 哲哉</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、すべての学生に対して、「イクボス」の理解を広めるために、自らが先頭に立ち、良きモデルとなる「イクボス」を目指します。 － 私は、ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画の精神および知識の習得を重視し、組織浸透をはかりながら、学生・教職員とともに、生き生きとした人生を送ることができるよう努力します。 － 学生支援のためにともに働く教職員に対し、時間の捻出など十分な配慮を行いつつ、有言実行の精神で業務を遂行します。
<p>副学長（研究担当） 橋本 篤</p>	<ul style="list-style-type: none"> － ワクワクしながら研究を行い、大切な人生をエンジョイしている方を応援します。 － 三重大大学の特徴を生かした研究活動が活性化することを目指し、その研究環境づくりに努めます。 － 地域に貢献できる研究成果、および世界に誇れる研究成果を生む三重大大学を目指し、全教職員が協力して職務に取り組めるよう努力します。 － 自ら率先して仕事と家庭・プライベートの最適なバランスを考え、充実した日々を楽しみます。
<p>副学長（社会連携 担当） 西村 訓弘</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、三重大大学が持つ知を活用し、自治体、産業界等と連携して、地域が抱える課題を解決する組織づくりを進めます。 － 私は、新しい時代を楽しみ、世界を舞台にして活躍するために、自分で生きる力を身につける若者の育成に努めます。 － 私は、学生からの相談には、出来る限り時間を割くよう努力します。
<p>副学長（国際交流 担当） 堀 浩樹</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 子どもが大切にされる社会を目指して努力します。 － 子育てをする女性と男性がいきいきと働き、成長できる職場環境の整備に努めます。 － 子育て世代への思いやりのある支援を実践します。 － 認め合い、支え合い、助け合う人のつながりを大切にする職場を創ります。
<p>副学長（広報担当） 吉本 敏子</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、働く女性の良きモデルとなるように、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を支援しつつ、自らも充実した人生を楽しむ「イクボス」を目指します。 － 教職員の多様性と働く環境を理解し、人にも環境にもやさしい組織作りに努めます。 － 組織のコミュニケーション力を高め、協働のネットワークの輪が広がるように、魅力的な広報活動を行います。 － 「イクボス」のいる組織は、働きやすい環境であること、未来志向の発展する組織であることを、積極的に社会に伝えていきます。

<p>副学長（危機管理 担当） 新保 秀人</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 男女が等しく社会に貢献できる仕組み作りをめざします。 － 女性の働き方における多様性を通してよりよい人材確保、養成をめざします。 － イクボス宣言の持つ意味を社会に広く知らしめる努力をします。 － 一人ひとりの心遣いにより豊かな社会が創造できるとの認識に立ち行動します。
<p>教育学部長 鶴原 清志</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 教職員がワーク・ライフ・バランスを考えて、充実した日常生活をおくことを応援する「イクボス」になります。 － すべての学生、教員、職員が、コミュニケーションを深め、相互理解のある環境をめざします。 － 業務の効率化を図り、精神的にも時間的にも余裕のある職場をめざします。 － 男女共同参画教育を積極的に推進するとともに、多様な価値観を尊重できる環境をめざします。
<p>大学院医学系 研究科長 片山 直之</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 生活が充実していればこそ仕事や勉学を頑張ることができ、仕事や勉学がうまくいっているときにこそ私生活を楽しめます。教職員および学生がこのような人生を送ることを応援します。 － ワーク・ライフ・バランスを保つことができる研究、教育、勉学の環境を整えていきます。 － 多種多様な活動でキャリアを積めることができる職場を提供していきます。 － 医学系研究科・医学部の発展の切り札である女性の構成員の活躍を促進していきます。
<p>大学院地域イノベーション学 研究科長 三宅 秀人</p>	<ul style="list-style-type: none"> － 私は、地域イノベーション学研究科のすべての教職員が、家族を思いやり、家族を大切にできる人生を送れるよう応援する「イクボス」になります。 － 私は、地域イノベーション学研究科のすべての教職員が、遠慮することなく、連続休暇や長期休暇をとるための環境整備に努めます。 － すべての教職員がそれぞれのキャリアを互いに応援しあうことを地域イノベーション学研究科全体の取り組みにします。 － 私は、ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画の精神を理解した若者を育て、そのキャリア形成を援助することで、優しさと暖かさのある職場が継続されることを目指します。